

有明高専だより

第27号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

Tel 09445 ③ 1011

印刷・西田印刷所

年頭所感

校長

一郎

「技術科学大学」のこと

昭和五十一年の年頭にあたり、

皆様とともに最も喜ばしいことは

私が長らく待ち望んでいた技術

科学大学が、昭和五十一年十月法

律上設置され、昭和五十三年四月

新入生受け入れにスケジュールが

決定したことあります。このこ

とは、高専としての強い要望によ

ることはもちろん、文部省・国会

議員その他関係各方面的御理解と

御努力の賜物であります。

精神も身体も柔軟な十五歳から

実践的教育、応用から理論への教

育によって技術者を養成すること

を最大の特色とするのが高専であ

り、高専五か年の「貫教育」は一つ

の完成教育であります。

しかし高専を卒業しきるに至る

を継ぎたい者のために、高専での

教育を「無理なく、無駄なく」伸

ばすために設けられるのがこの技

術科学大学であります。

今回開設されるのは、長岡技術

科学大学と農業技術科学大学の一

校で、四年制の学部の上には大学

院(修士課程)の昭和五十五年四

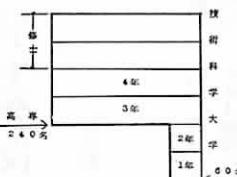
月設置が当初から決定しております。

定員はそれぞれ300名、第一年次には60名の工業高校卒業者を

第三年次に240名の高専卒業者

を、同時に受け入れることになっ

ています。



し高専が技術科学大学の進学予備校的な性格に変えられるようなどとにでもなると、高専は主体性を失うものとなり、このようなことにならぬよう、高専の自觉と技

術科学大学の配慮をえなければならぬ点であります。

「総合実習センター」のこと

環境風洞については、二年前着

手し現行計画と設計を終った段階

であり、風洞用資材等の購入を本

年度行ない、明年度は風洞製作に

着手する予定で、完成は数年後

になりますが、完成の暁は、これを

使用して地域環境問題の実験的研

究が行えることになります。風洞

は風速 20 m/s 、測定断面 900×900 の小型のものですが自作

の装置であるために、実験目的に

の完成教育であります。しかし高

専卒業後、さらに高専の実践的教

育をその方向で伸したい者のため

に、技術科学大学院が設置される

のですが、理論的な実習へ

と進みたい者のために従来の大

学編入の途があります。現在まで

編入学生を受け入れている大学は

、東工大他相当数ありますが、昭

和五十年四月から東大工学部も

又、編入を行うことになりました

。これは私共としては大変嬉しい

ニュースであります。

私共高専の前途は、就職事情に

おいても、進学・編入においても

極めて明るく学生諸君は迷つこと

なく腰を落付けて、勉学にスポー

ツに打ち込んでいただきたい。

有明高専では、昭和五十年四

月から工高卒業者を選考の上、四

年間に編入し、工高卒業者のため

に二つの進路を開くことにいたし

ました。すべての学生が、その資

質に応じて学習できるよう途を開

くことが、教育の真の機会均等に

つながると考えたからであります。

成績で最も高い志をもつた

方の選考が行われます。

成績で最も高い志をもつた

方の選考が行われます。

成績で最も高い志をもつた



成績で最も高い志をもつた方の選考が行われます。

第1回九州A地区高専

11 / 23 • 24

九州A地区高専体育大会(テグビー)は好天に恵まれ、予定通り無事終了した。本校は観客乍ら一回戦で敗れ、大方の期待を裏切ったが、ここでその後を簡単に顧みて、報告にかえることにしよう。

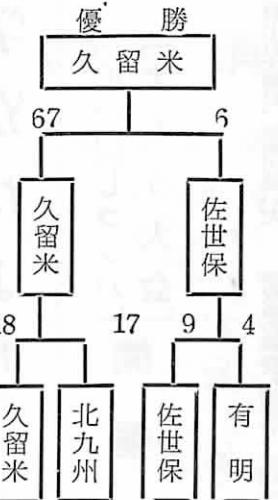
一回戦の組合せは図示する通りで、久留米対北九州戦は一転三転し、一点を争う緊迫した好試合となり、観衆気分のむ場面の連続であつたが、遂に久留米が力勝ちした。

一方、佐世保対有明戦は全くの凡戦で、有明について言えば、運手は責任意識過剰になつたのか、動きが固く、不用意な反則を重ね相手にペナルティーゴールを獻上するばかり、試合終了10分前から漸

く田嶺のベースを把み、再攻撃をかけたが、時既に遅くワントライトに押えに押さへて投げ出されてしまった。全く予期せぬ結果に選手達は呆然とする者、無念の涙する者等様々であった。

この一年、選手はそれぞれ努力して来たが、詰めに失敗したのは残念であった。これは今後の我々の大重要な課題である。

勝敗は右の通りであったが、本大会に至る迄、校長始め皆様から、そして方々のOB諸君から、いただいた数々の激励がどれ程選手を奮起させたことか。選手一同炎天下の合宿練習に耐えたのも皆様の御蔭である。



一月三十一日午後六時より大牟田市民会館において開かれた。壇上に校長御夫妻はじめ多数の教育、職員、学生、卒業生、市民、また遠く、久留米高専の吹奏楽部員その他の人々がこの会のために集まり満員の盛況であった。

会は午後九時までも続き、正味二時間半、熱演に聴き入った。

一部、二部、クラシックの編曲吹奏楽用のオリジナル、三部がボビュラー（映画音楽、民謡など）であり、飯野君、西原君それに穴山先生がタクトを振った。

まだ、会場の出入が激しい中、さわめきのうち、定期演奏会に始まった。

石の庭では、日本的であるよりは、今日の音樂をおもわせ、各樂器の微妙なやりとりが面白かったし、ときおり奏される、ヴィブラホーン等、打樂器の音色が新鮮に感じられ、それらしい雰囲気をかもしだしていた。一聖職日の音樂」と「大聖堂へのエルザの行列」は私の最も期待していたものであったが、共に期待に答るものであった。

前者は、ワグナー最後の傑作「バルジファル」より大詰めに近い戦

第五回定期演奏会報告



あるが、練習不足は感じられたものの弱奏の効果は、ときどきしきれながらも十分であった。はたりのない、まじめな演奏で、半、上昇音形から下降音形に変わった箇所から終りまで感動を受けめることができた。このような品を演奏出来る吹奏楽部は全く晴しいといえる。後者の方は、潛した気分で治まる開始部において、穴山生と部員の気持が全くひとつになっていたいるを感じた。入念にささやかに練習時ではなかったために、曲はワーグナー音楽の二つの面を典型的に表わしていたと思ふ。ランベット協奏曲では、全体でレグロ、モチラートの快速譜で、西原君のソロはほとんどミスターがなく、危険がなかった。こんなに楽しく聴かせる現在の吹奏楽員の実力は素人の耳ではあるが却當高いのではないか。全曲

「コラール・ブリュード」は少しテンポが早かったように思つた。第三部では報告者であることやめて、一時間ばかり、音楽にさへ入った。会場一杯に照明を使つた演出は、音楽と相共なつて、ノラマを思わせた。天を見あげながら、星の光りのもとローマの型劇場にでもいるようだ。また、上空を遊観飛行でもしているような錯覚におひいり、ロマンチックな気分に浸ることがでた。

すっかり入氣して会場を出て司会の田中君と卒業生の元吹奏楽でオーボエを吹いていた小田君最初にでた言葉は「大成功」であった。その言葉を繰り返しながら田中君の司会は、得意の美術知識を生かしての司会で以外所で、美術の教養を身につけることができた。例は、画家シラーによれば、言葉「造形芸術の最高に完成された形は、音樂にならなければならぬ」と思いますが、現在わかつてない北九州高専

（当番校）バスク
久留米高専 剣道、水泳
佐世保高専 硬式野球
有明高専 バレーボール

第13回九州A地区高専体育大会予告
第十三回、九州A地区体育大会の詳細予告は次号という、こ
とをいいますが、見玉つづっている道順を予告します。（七時

| | | | | |
|-------|--------------|----------|-----|-------|
| 佐世保高専 | 陸上競技 硬式野球 | バスケットボール | 当番校 | 北九州高専 |
| 有明高専 | バレーボール | 水泳 | 剣道 | 22日 |
| 久留米高専 | 23日、24日 | 21日、22日 | 22日 | |
| | 23日、24日 | | | |
| | 柔道 | | | |
| | 24日 | | | |

1
月) となるか

第12回九州A地区高専

一月三十一日午後六時より大牟田市民会館において開かれた。舞姫の羽奏の効果は、とよきとよき、とあるが、練習不足を感じられた。

「コラール・ブレリュード」は、い。」などである。
少しテンポが早かったよの?題の
今年は次の曲の頃ばいみよお